令和７年度　石狩地区の研究活動

研修部長　北広島市立東部中学校
校長　堀　田　裕　之

１　はじめに

◇11月６日　秋季学校経営研究会開会式の様子◇

石狩管内小中学校長会は、札幌市を除く石狩管内市町村の公立小中学校・義務教育学校に所属する98名の会員で組織されている。

今年度の４月に行った総会において、これまでの研究活動の成果と課題を踏まえて、３か年研究計画の３年次目として研究活動をスタートさせた。

３か年計画の最終年である今年度は、第３協議題を「改善を続ける組織をつくり、社会の負託に応える学校経営の確立」と設定し、検証改善サイクルの充実による学校経営の活性化や、危機管理、服務規律、働き方改革などについて協議し、研究活動を進めてきた。

２　研究計画

⑴　研究の方針

○全国・全道校長会の研究内容との関連を重視する。

○北海道教育長期総合計画、石狩管内教育推進の重点との関連を図る。

○石狩管内の学校教育の現状に基づき、その充実・発展を図る。

⑵　研究主題（令和５年度策定　３か年計画）

「自ら未来を創造し切り拓く　石狩の子どもを育てる　学校教育の推進」

～持続可能な社会をつくる子どもに、必要な資質・能力を育成する学校経営の在り方～

⑶　協議題・課題（令和５・６年度は協議題のみ記載）

○第１協議題　令和５年度「新たな時代に必要な資質能力を育成し、生きる力を育む学校経営の確立」

○第２協議題　令和６年度「活力ある学校組織をつくり、時代の要請に応える学校経営の確立」

○第３協議題　令和７年度「改善を続ける組織をつくり、社会の負託に応える学校経営の確立」

課題①　子どもと職員を守る危機管理、服務規律の在り方

〈視点ア〉子どもの命を守りいじめを解決する危機管理

〈視点イ〉保護者・地域の信頼に応える服務管理

課題②　検証改善サイクルを活用した学校経営の在り方

〈視点ア〉教育活動の質の保障・向上を図る学校評価

〈視点イ〉職員のやりがいを引き出す人事評価と働き方改革

⑷　研究推進と事業計画

○市町村研修部長会議の開催（管内研究の確認及び進行管理、各市町村校長会研究内容の交流）

○道小・道中との連携（研究大会参加体制の確立、諸調査への対応）

○管内教育関係機関・団体との連携（研究等における指導・助言依頼及び調整）

３　研究活動の概要

⑴　春季学校経営研究会

○期日　令和７年４月10日（木）　○場所　北広島市（芸術文化ホール・石狩教育研修センター）

○研究計画説明及び質疑応答

○研究協議　３分科会（小学校２、中学校１）

・保谷　剛（新篠津：新篠津小）、髙橋　基（江別：野幌若葉小）、上田充士（江別：野幌中）が提言

⑵　秋季学校経営研究会

○期日　令和７年 11 月６日（木）　○場所　北広島市（芸術文化ホール・石狩教育研修センター）

○道小・道中・全連小・全日中研究大会の参加報告

○講話　北海道教育庁石狩教育局長　行徳義朗　様　　○講話題「教育課題の解決に向けて」

○研究協議　３分科会（小学校２、中学校１）

・徳田和之（千歳：千歳小）、髙橋恒雄（江別：大麻東小）、立崎寿朗（石狩：厚田学園）が提言

⑶　第68回北海道小学校長会教育研究根室大会への参加

○期日　令和７年９月12日（金）～13日（土）

○参加者　29名（提言者、道小理事及び幹事含む）

○第２分科会において、佐々木めぐみ（千歳市：千歳第二小）が提言発表を行った。

⑷　第66回北海道中学校長会研究大会　胆振・室蘭大会への参加

○期日　令和７年９月26日（金）～27日（土）

○参加者　19名（提言者、道中理事及び幹事含む）

○第１分科会において、松橋辰吾（千歳市：勇舞中）が提言発表を行った。

⑸　第77回全連小研究協議会　福岡大会への参加

○期日 令和７年10月16日（木）～17日（金）

○参加　５名

⑹　第76回全日中研究協議会　香川大会への参加

○期 日 令和７年10月23日（木）～24日（金）

○参加　４名

⑺　ブロック別校長研修会の開催

○Ａブロック校長研修会（千歳、恵庭、北広島）９月９日（火）　恵庭市民会館

・研究協議提言　佐藤一希（千歳：緑小）、江連誠二（北広島：緑陽中）

○Ｂブロック校長研修会（江別、石狩、当別、新篠津）９月 16 日（火）石狩市総合福祉センター「りんくる」

・研究協議提言　潟沼史郎（当別：西当別小）、高橋浩子（江別：江別第二中）

⑻　研究集録第41集の発行（令和８年２月発行）

○令和７年度（３か年計画／令和５年度～令和７年度研究計画）の研究内容のまとめ。

４　おわりに

今年度は、３か年研究の最終年として計画していた各種研究活動を、充実した協議内容の下、予定通り実施することができた。子どもたちの資質・能力を育むため、改善を続ける組織をつくり、社会の負託に応える学校経営の確立について、石狩管内、全道、全国の仲間との協議・対話を通して、研究を深めることができたことは大きな成果であったと考える。

次年度から新たな研究を始めるに当たり、現在、その内容を検討している。経営方針の策定や組織マネジメント、地域等との連携、危機管理など、校長がリーダーシップを発揮し、全教職員が参画する学校経営の充実を目指す研究を、今後も継続して進めていきたい。